

hotel data

●うみべのやど あまみく / 沖縄県国頭郡今帰仁村今泊3398 ☎0980-56-2345。全2室。1泊素泊まり9,720円～。1階のカフェで自家栽培手摘み一番茶の紅茶を。2014年7月オープン。http://www.huali-holiday-home.jp

アクセス / 那覇空港から車で約2時間。バスは今帰仁城跡入口下車。バス停まで送迎あり。

周辺情報 / 世界遺産・今帰仁城跡まで車で5分。美ら海水族館、古宇利島まで同約15分。

土産 / 無農薬栽培。沖縄県産100%のオリジナル「やんばる紅茶」(50g 1,000円～)。

- 1 琉球漆喰の壁、琉球畳、テラスからの絶景、オーシャンビューのバスに、身も心もくつろぐ。
- 2 朝食は1,000円。ゆし豆腐、タコスミートの島豆腐キッシュ、ミジュン南蛮漬など、地元食材を使った料理を大嶺工房などの器で。夕食はBBQの手配可能。



2 1

わさわさ
いきたくなる
ホテル。

部屋から見渡す限り人工物はなく、自然のままの海が180度以上に広がる。沖には冬はクジラ、夏はウミガメが姿を見せることも。

リゾートホテル以上の環境で、民宿のようなくつろぎを。

波の音を聞き、沖縄の原風景に癒やされる。

目の届く範囲の大きさであるホテル

海辺の宿 あまみく

●沖縄・今帰仁

「アマミク」とは、琉球の島々を創世したとされる女神の名だ。沖縄本島北部の神話では、北端の辺戸岬に上陸し、今帰仁にクボウ御嶽を創り、備瀬を通じて南部に向かったと伝わる。

「海辺の宿 あまみく」があるのは、そんな神話の時代から変わることのない、沖縄の原風景を今に残す稀少な海岸。岩場の上にポツンと立つ宿の両側には天然ビーチが広がり、2階の部屋からは「ペールブルー」・「エメラルドグリーン」・「コバルトブルー」と変化する今帰仁の海がパステルで楽しめる。

宿を営むのは、大城浩樹さん・純子さん夫妻。辺戸岬近くで紅茶栽培を手がけ、備瀬でアグセサリーショップの経営と貸別荘の管理人をしていた2人は、浩樹さんの故郷・今帰仁で、アマミクに導かれるようにこの土地に出会った。「ここなら宿も、アグセサリー工房もテイルームも、自分たちの手で1カ所ですべてできると即決しました」

2人は2年かけ、できるだけ景観を邪魔しない、自然でシンプルな宿を作った。2部屋だけにしたのは、「民宿のアットホームさと、リゾートホテルの快適さを兼ね備えた宿にするには、2人の目の届く広さでやりたかった」からだ。ゲストが口を揃えるのは「すごくよく眠れる」ということ。それは波の音が子守唄になるだけでなく、背後にクボウ御嶽を仰ぐ地力の高さもあるのだろう。宿を造るとき、何も知らないはずの3歳の長男が「ここは神様の通り道だね」とつぶやいたのも、決して偶然ではないと2人は感じている。

北海道、長野、京都、沖縄、パリ、南米……

旅の目的となるホテルへ。

BRUTUS[®]

2015 8/15 特別定価 650円

わざわざいきたくなるホテル。

特別付録

あたらしい
泊まりかた
BOOK

ホテル、古民家、ゲストハウス、Airbnb……